

官報號外

昭和八年三月二十三日

○第六十四回 帝國議會 貴族院議事速記錄第一十八號

昭和八年三月二十二日(水曜日)午前十時五
分開議

昭和八年度歲入歲出總豫算追加案（第一號）

ル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副
委員長ノ氏名左ノ如シ

官動産ノ上ニ先取特權ヲ認メタノデアリマス、其二ハ農業者、漁業者、農事實行組合、
養蠶實行組合等ノ債務ヲ擔保シ、主に是等ノ

議事日程 第二十八號
昭和八年三月二十二日

議事日程 第二十八號
昭和八年三月二十二日
午前十時開議
第一 農業動產信用法案（政府提出、
衆議院送付）
第二 漁業法中改正法律案（政府提出、
衆議院送付）
第一 読會ノ續（委員長報告）

第三 第一讀會ノ續(委員長報告)
昭和六年度歲入歲出總大算、昭和六年度各特別會計歲入歲出決算報告
第四 會議(委員長報告) 昭和六年度國有財產增減總計算
書報告 會議(委員長報告) 昭和七年三月三十一日現在國有財產現在額總計算書報告
第五

昭和五年度特別會計第一豫備金支出ノ件
昭和六年度第一豫備金支出ノ件
昭和六年度特別會計第一豫備金支出ノ件
昭和六年度第二豫備金支出ノ件

農業興業信託法
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也
昭和八年三月二十日
貴族院議長公爵德川家達殿
委員長子爵松平直平
漁業法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

ト云フコトデアリマス、養蠶實行組合ハ現ニ三千七百位モアリマシテ、農事實行組合ハマダ法人トナフテ居ラヌト云フコトデアリマス、又一委員ハ農村ノ實體ヲ見ルト、統一シテモ宜イヤウナモノガ二ツノ組合ニナフテ居ルモノガアル、養蠶實行組合ノヤウナモノハ農事實行組合ニ包含シテモ宜

第六 司法代書人法中改正法律案（衆議院提出）第一讀會（續）（委員長報告）

昭和六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
昭和六年度特別會計第二豫備金支出ノ件

報告候也
昭和八年三月二十日
委員長 子爵松平 直平

第七 身元保證ニ關スル法律案（衆議院提出）第一讀會ノ續（委員長報告）
第八 古物商文部省申文王法律案（衆議院提出）

昭和六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算
超過及豫算外支出ノ件
昭和七年度第二豫備金支出ノ件
昭和七年度第一豫備金支出ノ件

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔子爵松平直平君演壇ニ登ル〕

第六回 古物商取締法中改正施行案（衆議院提出）第一讀會ノ續（委員長報告）

昭和七年度特別會計第二豫備金支出ノ件
昭和七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算

只今日程ニ上カリ、シ
タ兩案ニ付テ、特別委員會ノ經過並ニ結果
ヲ御報告イタシマス、先づ農業動產信用法

ヲ致サセマス
〔小林書記官朗讀〕
昨二十日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府
出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆
院ニ通知セリ

尚日本院ニ於テ可決シタル左ノ建議ハ文書
以テ即日之ヲ政府ニ呈出セリ
警察官優遇ニ關スル建議
尚日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル

案ノ方ヨリ申上ゲマス、此案ハ農村、山村、漁村ニ於キマスル金融ノ現状ニ鑑ミマシテ、農漁業者ノ負擔力ノ増加ヲ圖リマシテ、其生産資金供給ノ圓滑ヲ期セムト致シタイ爲ニ、新タニ先取特權及農業用動產ノ抵當權ニ關ス

官報號外

ルト云フ答辯デアリマシタ、其他質問ハゴザイマシタケレドモ是ハ省略ヲ致シマス、採決ノ結果、別ニ異議者モゴザイマセヌデ、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、次ニ漁業法中改正法律案ノ御報告ヲ致シマス、本案ノ提出ノ理由ハ、現行法ニ於キマシテハ、漁業組合ハ隣保共助ノ精神ニ基キマシテ、漁村ニ於キマスル經濟機關トシテノ機能ヲ發揮スルニハ、尙本現在ノ法律デハ不十分ノ點ガアルノデ、漁村ノ經濟更生ノ方策ト致シマシテ、之ニ關スル規定ノ改正ヲナシタノデアリマス、本案改正ノ主要ナル點ヲ申上ゲマスレバ、漁業組合ハ從來共同施設ヲスルコトヲ目的トシテ居リマスルケレドモ、今回新タニ組合員ノ經濟ノ發達ニ必要ナル共同ノ施設ヲ加ヘラレテ、又漁業組合ニハ組合員ヨリ出資ヲナシムルコト致シマシテ、漁業協同組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種ト致シタノデアリマス、又漁村ノ事情ニ依リマシテハ漁業者ニ非ザル者デモ、組合員トナルコトガ出來ルコトノ規定ヲ設ケラレタノデアリマス、漁業組合聯合會ハ其所属ノ漁業組合及漁業組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達成シテハ、漁業者ニ非ザル者デモ、組合員トナルコト致シタノデアリマス、本法改正施行前ニ設立ヲシテ居ル漁業組合聯合會ハ改正法律ノ施行後五年ヲ限り從前ノ規定ニ依ルコトト致シマシタ、其期間内ニ聯合會トナザルモノハ解散ヲスルコトニ相成リマシタ、主務大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖、保護又ハ漁業取締ノ爲ニ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナル物ノ漏泄及水產動植物ノ移植ニ關シマシテ、制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘタノデアリマス、又母船式漁業又ハ底曳漁業ヲ營ムモノハ、主務大臣ノ許可ヲ得ルコトニナツタノデアリマス、之ニ對シテ質問モゴザイマシタガ、其一二ヲ申上ゲマスレバ、近來魚族ノ漸次減少ヲ

スル傾キガアル、ソレニ付テ之ヲ防ギ又ハ保護ニ對スル當局ノ所見ハ如何デアルカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテ、漁業法デハマダ十分目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思ハレル、其關係スル所ガ廣汎デアルカラシテ、歐米諸國ノコトモ能ク調査ヲシテ、慎重ニ研究ヲスル積リテアルト云フコトデアリマス、改正法ノ第十五條ノ二ノ實例ハドウ云フ場合デアルカト云フ質問ニ對シマシテ、漁業權ノ共有者ノ場合ニハ共有者ノ數ガ多キ爲ニ、其中ニハ出稼人モアル、其爲ニ所在不明ノ者ガアルガ故ニ、是ハ民法ノ失踪宣告ニ類似シテ取扱フコトトスル、又四十三條ノ諸事業ヲ爲スニハ漁業組合員ノ出資ハドノ位ノ程度ノ出資ヲスルノデアルカト云フ質問ガゴザイマシタ、ソレハ產業組合ノ程度位ト考ヘテ居ル、先づ五十圓位デ、是ハ分担拂ヒトスル積リタルノ機船ガ種々ノ妨害ヲスルコトヲ聞イテ居ルガ、其取締ハ如何シテ居ルカト云フ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ遠洋漁業者ノ機船ガ種々ノ妨害ヲスルコトヲ聞イテ居ルガ、其取締ハ如何シテ居ルカト云フ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ從來地方長官ノ認可事項デアッタケレドモ、本年二月カラ遠洋底曳網漁業ハ主務大臣ノ許可ノ事項ト改メ、其罰則モ從來ヨリモ餘程嚴重ニ、斯、其組織ハ有限責任及保證責任ノ二種ト致シタノデアリマス、本法改正施行前ニ設立ヲシテ居ル漁業組合聯合會ハ改正法律ノ施行後五年ヲ限り從前ノ規定ニ依ルコトト致シマシタ、其期間内ニ聯合會トナザルモノハ解散ヲスルコトニ相成リマシタ、主務大臣又ハ地方長官ガ水產動植物ノ蕃殖、保護又ハ漁業取締ノ爲ニ命令ヲ以テ規定シ得ル事項中ニ、水產動植物ニ有害ナル物ノ漏泄及水產動植物ノ移植ニ關シマシテ、制限又ハ禁止ノ事項ヲ加ヘタノデアリマス、又母船式漁業又ハ底曳漁業ヲ營ムモノハ、主務大臣ノ許可ヲ得ルコトニナツタノデアリマス、之ニ對シテ質問モゴザイマシタガ、其一二ヲ申上ゲマスレバ、近來魚族ノ漸次減少ヲ

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ御詰リヲ致シマス、只今松平特別委員長ノ一括シテ報告セラレマシタ兩案共、一括シテ議題トスコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、兩案トモ第一讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ兩案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵西大路吉光君 賛成

○子爵西大路吉光君 賛成

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 領事團ノ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第三ヨリ第5マデ、會議、委員長報告、千田男爵

昭和六年度歲入歲出總決算昭和六年度各特別會計歲入歲出決算及既往年度檢查未確定金額ノ検査確定シタルモノヲ審査シ

昭和六年度歲入歲出總決算歲出經常度量衡費中商工省ノ支出ニ係ル件、第二款特許局事務費中特許局ノ支出ニ係ル件

昭和六年度歲入歲出總決算歲出臨時部農林省所管第一款產業獎勵費第十

三項綿羊飼育獎勵費中農林省、種羊場及瀧川種羊場ノ支出ニ係ル件、第

十八項蠶絲業改良獎勵費中農林省ノ支出ニ係ル件、第二款農村振興費第

三項事務費中農林省、農事試驗場及蠶業試驗場ノ支出ニ係ル件、第三款

調查及研究費第二項事業費中農林省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル件

昭和六年度歲入歲出總決算歲出臨時部商工省所管第二款貿易振興費第二

項事務費中商工省ノ支出ニ係ル件、第三款調查及試驗費第二項事業費中

商工省、福岡鑑山監督局及燃料研究

所ノ支出ニ係ル件、第七款公有林野官公造林

費第一項公有林野官行造林費中農林

省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル件

昭和六年度歲入歲出總決算歲出臨時

部商工省所管第二款貿易振興費第二

項事務費中商工省ノ支出ニ係ル件、第三款

調查及研究費第二項事業費中農林

省、林業試驗場及蠶業試驗場ノ支出

ニ係ル件、第七款公有林野官公造林

費第一項公有林野官行造林費中農林

省及青森外五營林局ノ支出ニ係ル件

昭和六年度歲入歲出總決算歲出臨時

部商工省所管第二款貿易振興費第二

項事務費中商工省ノ支出ニ係ル件、第三款

調查及研究費第二項事業費中農林

省、福岡鑑山監督局及燃料研究

所ノ支出ニ係ル件、第十二款臨時產

業合理局費第二項事業費中專賣局

昭和六年度各特別會計歲入歲出決算

大藏省所管大藏省預金部歲出第一款

大藏省預金部歲出第一項事務費中

藏省ノ支出ニ係ル件
昭和六年度各特別會計歲入歲出決算
文部省所管學校及圖書館歲出經常部
第一款學校及圖書館第二項校館費中
高岡高等商業學校ノ支出ニ係ル件
昭和六年度各特別會計歲入歲出決算
商工省所管製鐵所資本勘定歲出第一
款製鐵所改良及補充費第一項第一期
改良費中製鐵所ノ支出ニ係ル件、第二
項工場其他設備費中製鐵所ノ支出ニ
係ル件、用品勘定歲出第一款製鐵所
用品及工作費第二項用品及工作費中
製鐵所及二瀬出張所ノ支出ニ係ル件、
作業勘定歲出第一款製鐵所作業費
第二項事業費中製鐵所ノ支出ニ係ル
右ノ政府ノ措置極當ヲ觀クモノト認ム

昭和六年度歲入歲出總決算歲出經常
部第一款租稅第一項所得稅中大館稅
務署、志津川稅務署、千葉、松戸兩
稅務署ノ收入ニ至ラサリシモノ三件、
石卷稅務署、淀川稅務署、堺稅務
署、東稅務署、岸和田稅務署、茨木
稅務署、一宮稅務署、福井稅務署、神
戶稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ九件、
神戶稅務署、長岡稅務署ノ徵收過
ニ係ルモノ二件、第二項地租中大館
稅務署、志津川稅務署、千葉、松戸
戶稅務署ノ收入ニ至ラサリシモノ三
件、第三項營業收益稅中大館
稅務署、志津川稅務署、千葉、松戸
戶稅務署ノ收入ニ至ラサリシモノ三
件、神戶稅務署、長岡稅務署ノ徵收不足ニ係ル
件、神戸稅務署、堺稅務署、東稅務署、福
井稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三
件、第五項相續稅中大館稅務署、志津

川稅務署、千葉、松戸兩稅務署ノ收
入ニ至ラサリシモノ二件、第八項
業稅中大館稅務署、志津川稅務署ノ
收入ニ至ラサリシモノ二件、第十項砂糖消費稅中鹽戶外九
稅務署ノ徵收ニ係ル件、第四款雜收入
第一項免許及手數料中大館稅務署、
志津川稅務署、千葉、松戸兩稅務署
ノ收入ニ至ラサリシモノ三件、第二
項懲罰及沒收金中札幌地方、區兩裁
判所、岡山地方裁判所ニ於テ歲入ニ
編入スヘキモノ二件、第三項辦償及
違約金中志津川稅務署ノ收入ニ至ラ
サリシ件、札幌地方裁判所ニ於テ歲
入ニ編入スヘキ件、第十一項雜入中
大館稅務署、志津川稅務署、千葉、
松戸兩稅務署ノ收入ニ至ラサリシモ
ノ三件

昭和六年度歲入歲出總決算歲出經常
部大藏省所管第十款諸拂戻及補填金
第一項諸拂戻及補填金中廣島稅務監
督局ノ支出ニ係ル件
昭和六年度歲入歲出總決算歲出經常
部陸軍省所管第二款軍事費第四項衣
糧費中陸軍糧秣本廠ノ支出ニ係ル件
昭和六年度歲入歲出總決算歲出經常
部遞信省所管第二款遞信費第二項遞
信事業費中大阪外四遞信局、仙臺遞
信局ノ支出ニ係ルモノ二件
昭和六年度歲入歲出總決算歲出臨時
部內務省所管第三款鴻濱改良費第五
項清水港修築費中內務省橫濱土木出
張所ノ支出ニ係ル件、第七款北海道
拓殖費第一項殖民費中北海道廳外十
四箇所ノ支出ニ係ル件、第二項森林
子稅中大館稅務署ノ收入ニ至ラサ
リシ件、堺稅務署、東稅務署、福
井稅務署ノ徵收不足ニ係ルモノ三
件、第五項相續稅中大館稅務署、志津

出ニ係ル件、第五項道路橋梁費中北
海道廳外八箇所ノ支出ニ係ル件、第
六項河川費中北海道廳外八箇所ノ支
出ニ係ル件、第七項治水費中北海道
廳外三箇所ノ支出ニ係ル件、第八項
港灣費中北海道廳外十箇所ノ支出ニ
係ル件
昭和六年度歲入歲出總決算歲出臨時
部大藏省所管第一款營繕費第一項議
院建築費中營繕管財局ノ支出ニ係ル
件、第二項中央諸官衙建築費中營繕
管財局ノ支出ニ係ル件、第三項神戸
稅關陸上設備費中營繕管財局及神戸
出張所ノ支出ニ係ル件、第十四項福岡
簡易保險支局新營費中營繕管財局ノ
支出ニ係ル件、第二款調查費第九項無
居異動地整理調查費中大藏省及東京
外六稅務監督局ノ支出ニ係ル件、第
四款國有財產整理費第一項國有財產
整理事務中營繕管財局及東京外六稅務
監督局ノ支出ニ係ル件、第七款震災
復舊及新營費第一項事務費中營繕管
財局ノ支出ニ係ル件、第十三款土地
臺帳其他簿書整理費第一項土地臺帳
其簿書整理費中大藏省及東京外六
稅務監督局ノ支出ニ係ル件、第十四
款賠償事務取扱費第一項賠償事務取
扱費中大藏省ノ支出ニ係ル件
昭和六年度各特別會計歲入歲出決算
大藏省所管印刷局歲出第一款印刷局
作業費第二項事業費中造幣局ノ支出
ニ係ル件
昭和六年度各特別會計歲入歲出決算
大藏省所管專賣局歲出第一款專賣局
作業費第二項事業費中內閣印刷局ノ
支出ニ係ル件
昭和六年度各特別會計歲入歲出決算
大藏省所管專賣局歲出第一款專賣局
作業費第二項事業費中東京地方專賣
局ノ支出ニ係ルモノ二件
昭和六年度各特別會計歲入歲出決算
海軍省所管海軍工廠資金歲出第一款
材料物品費第一項材料物品費中佐世
保海軍工廠ノ支出ニ係ル件
昭和六年度各特別會計歲入歲出決算
海軍省所管海軍工廠資金歲出第一款
材料物品費第一項材料物品費中佐世
保海軍工廠ノ支出ニ係ル件
昭和六年度各特別會計歲入歲出決算
文部省所管學校及圖書館歲出經常部
第一款學校及圖書館第二項校館費中

委員會ハ三月十三日ニ會議ヲ開キマシテ各分科主査竝ニ小委員會委員長カラ其分擔ノ經過ト結果ニ付キマシテ詳細ナル御報告ガアリマシタ、即ち各分科會ヲ通ジテ議決セラレマシタ件數ハ百三十八件デアリマシテ、其内譯ハ政府ノ措置穩當ヲ闕クモノト決議イタシタモノガ、十七件デゴザイマス、又政府ニ對シテ將來ノ注意ヲ促スベキモノト議決イタシマシタモノガ百二十一件、其他ハ全部異議ナシト云フコトニ議決イタサレタノデゴザイマス、而シテ此議決セラレマシタ大要ヲ申上ゲマスルト、検査院ノ檢查報告ニ係ル批難事項ニ對シマシテハ、政府ノ辯明書ト個々對照シテ所管當局ニ質疑ヲ重ねタノデアリマシテ、御手許ニ參テ居リマスル議決報告書中、政府ノ措置穩當ヲ闕クモノノ中デ、特別會計、文部省所管ノ高岡高等商業學校ノ支出ヲ除キマシテ、他ハ全部賞與及慰勞金ノ支出ニ對スル批難トナツテ居リマス、賞與及慰勞金ノ支出ノ件ニ付キマシテハ、五年度ノ決算ノ御報告ノ一部地均工事費トシテ證明イタシタモノデアリマスガ、出張ノ事實ガナイノニ支出書類ヲ作爲シテ、他ノ目的ニ使用シ、又學友會施工ノ工事ノ資金ニ一部ヲ充當シタト云フ事件デアリマス、次ニ國有財產ノ方ヲ申上ゲマス、昭和六年度國有財產ノ增減ニ付キマシテハ、增加額ハ八億七千八百十七萬餘圓デアリマシテ、減少額ハ十一億八千九百二十一萬餘圓ニナツテ居リマス、故ニ増減差引ハ三億一千百三萬餘圓ノ減少トナリマス、是ハ昭和六年度ノ末月ハ恰モ土地及立木竹ノ價格ノ改訂時期ニナツテ居リマシテ、是等ノ財產ノ値下リニ依リマスルノガ主ナルモノトナツテ居リマス、此增減書ニ關シマシテ小委員會ニ於テ、六件ハ政府ニ

對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト決議
議決相成タノデゴザイマス、次ニ國有財產ノ現在額總計算書デアリマスガ、是ハ五箇年毎ニ政府カラ提出スルコトニナテ居リマシテ、今議會提出ニナリマシタノハ、昭和七年三月三十一日現在ノ調べニナフテ居リマス、此現在額總計算書ニ計上サレテ居ル國有財產ノ總額ハ八十億五十萬餘圓ニナフテ居ルノデゴザイマス、本件ニ對シマシテハ小委員會ニ於キマシテ、全部異議ナイモノト決議イタシタノデゴザイマス、此國有財產ニ付キマシテ小委員會ノ御質疑ヲ重不ラレタノヲ通ジテ見マスルト、大要ハ各省ニ管理スル國有財產中、公用又ハ公共ノ用ニ供サレモノハ、是ハ大藏省ニ移サズシテ各者ニ管理スルガ適當デアルカ、或ハ整理スル必要ハナインデアルカ、或ハ寺院佛堂ノ國有境内地ノ處分ニ關シテ、寺院ガ多年ノ要望デアル所ノ宗教法ト分離シテ、處分スル方法ヲ講ズルガ適當デハナイカ、之ニ關聯イタシマシテ色ニノ御質疑ガアタノデアリマスガ、是亦詳シイコトハ速記録ニ依テ御覽ヲ戴イテ、委員會ハ御手許ニ配付相成フテ居リマス通り、各分科會並ニ小委員會報告通り全部可決イタシタノデゴザイマス、甚ダ短簡デゴザイマスガ、以上御報告申上ゲマス

昭和八年三月十八日
司法代書人法中改正法律案
右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
報告候也

貴族院議長公爵德川家達殿
委員長 公爵騰司 信輔
身元保證ニ關スル法律案
昭和八年三月二十日
貴族院議長公爵德川家達殿
委員長 公爵騰司 信輔
第一條 小字及一八特別委員修正
引受、保證其ノ他名稱ノ如何ヲ
問ハズ期間ヲ定メズシテ被用者ノ行爲
ニ因リ使用者ノ受ケタル損害ヲ賠償ス
ルコトヲ約スル身元保證契約ハ其ノ成
立ノ日ヨリ三年間其ノ效力ヲ有ス但シ
商工業見習者ノ身元保證契約ニ付テハ
之ヲ五年トス

第二條 身元保證契約ノ期間ハ七年ヲ超
ユルコトヲ得ズ若シ之ヨリ長キ期間ヲ
定メタルトキハ其ノ期間ハ之ヲ五七年ニ
短縮ス

身元保證契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得
但シ其ノ期間ハ更新ノ時ヨリ七年ヲ超
ユルコトヲ得ズ

第三條 使用者ハ左ノ場合ニ於テハ遲滞
ナク身元保證人ニ通知スベシ若シ此ノ
通知ヲ怠リタルトキハ其ノ以後ニ於ケ
ル被用者ノ行爲ニ付身元保證人ニ對ス
ル損害賠償請求ノ權利ヲ失フ

一 被用者ニ業務上不適任又ハ不誠實
ナル事跡アリテ之ガ爲身元保證人ノ
責任ヲ惹起スル虞アルコトヲ知リタ
ルトキ

二 責任者ノ任務又ハ任地ヲ變更シ之
ガ爲身元保證人ノ責任ヲ加重シ又ハ

第四條 身元保證人前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ將來ニ向テ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得身元保證人自ラ前條第一號及第二號ノ事實アリタルコトヲ知リタルトキ亦同ジ

身元保證人ガ前條ノ通知ヲ受ケ又ハ前條第一號及第二號ノ事實アリタルコトヲ知リタル後遲滯ナク契約ノ解除ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フ

第五條 裁判所ハ身元保證人ノ損害賠償ノ責任及其ノ金額ヲ定ムルニ付被用者ノ監督ニ關スル使用者ノ過失ノ有無、身元保證人ガ身元保證ヲ爲スニ至リタル事由及之ヲ爲スニ當リ用ヰタル注意ノ程度、被用者ノ任務又ハ身上ノ變化其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌ス

第六條 本法ノ規定ニ反スル特約ニシテ身元保證人ニ不利益ナルモノハ總テ之ヲ無効トス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ本法施行前ニ成立シタル身元保證契約ニモ之ヲ適用ス但シ存續期間ノ定期契約ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算シ第一條ノ規定ニ依ル期間其ノ效力ヲ有ス存續期間ノ定期契約ニ付テハ本法施行當時ニ於ケル殘存期間ヲ約定期間トス若シ此ノ期間ガ七年ヲ超ユルトキハ之五
ヲ七年ニ短縮ス

古物商取締法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和八年三月十八日

委員長 公爵鷹司
貴族院議長公爵徳川家達殿
〔公爵鷹司信輔君演壇ニ登ル〕
○公爵鷹司信輔君先づ第一ニ司法代書人
法中改正法律案ノ、委員會ニ於キマスル審

議ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、本案ハ衆議院ノ提出シマンタ法律案トシテ、其要旨ハ一、司法代書人ナル名稱ヲ律書士ト改ムルコト、二、律書士ニ考試ノ制度即チ検定試験ノ制度ヲ設クルコト、三、業務ノ範圍ヲ擴張シテ非訟事件ニ付テ書類ノ受理ニ至ルマデノ代理ヲ爲スコト、四、律書士會ヲ設ケテ強制組合ト爲スコト、以上ノ四點ヲ改正スルノデゴザイマス、之ニ對スル政府當局ノ意見ハ、第一ニ對シテハ律書士ナル言葉ノ意味ガ明瞭ヲ缺クノミナラズ、從來使用シ慣レタ司法代書人ナル名稱ニテモ別段差障リアリトハ考ヘラレナイ、二ニ對シテハ、考試ノ制度ニ付テハ提案者ハ如何ナル組織ノ檢定委員ヲ置キ、如何ナル學科ニ付テ試験ヲ行ハウトスルノカ分ラナイケレドモ、司法代書人ノ仕事ガ裁判所及檢事局ニ提出スペキ書類ノ作製ニアル點ヨリ考ヘテ見レバ、現在ノ制度ノ如ク司法代書人タルニハ、所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケレバソレテ十分ダト考ヘル、三ニ對シテハ、業務ヲ、非訴事件ニ付テノ書類ノ受理ニ至ル迄ノ代理ヲ爲スコトヲ得ルト云フ所マデ、其範圍ヲ擴張スルコトハ考慮ヲ要スルコトデアル、今日非訟事件ノ數ハ裁判事件ノ大半ヲ占ムモノデアリテ、而モ其中ニハ國民ノ身分上竝ニ財產上ニ重大ナル影響ヲ與ヘルモノモ少クナインデアルカラ、此處マデ司法代書人ノ業務ヲ擴張スルト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラヌコトデアル、四ニ對シテハ、司法代書人ノ強制組合ヲ設クルコトハ、今日ト雖モ司法代書人ハ地方裁判所毎ニ任意ニ組合ヲ設ケタルノアルノデアルカラ、特ニ法律ヲ以て規定シト云フコトデゴザイマス、要スルニ政府當局トシテハ、本改正法律案ニハ反対デアルナルモノニ付テ簡単ニ申上ゲマス、大正十一年三月ニ大阪地方裁判所ノ照會ニ對シ同

年四月民事局長ノ回答ニ依レバ、司法代書人ニ對シ非訟事件ニ關シ一部ノ代理ヲ認メルガ如キ觀アリトノ間ニ對シ、政府當局ノ答ハ、右回答ハ稍明瞭ヲ缺ク點アルヲ以テ、適當ノ機會ニ之ヲ明瞭ニスル必要ガアルト云フコトデアリマス、又目下政府提案中ノ法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律案ノ仲裁若ハ和解ヲ爲シ又ハ此等ノ周旋ヲ爲スヲ業トスルコトヲ得ズ』ト規定シテアリマス、若シ此法律ガ制定實施ノ曉ニハ司法代書人ノ業務ノ範圍ハ自カラ茲ニ限定セラルベシト考ヘラレルガドウカト云フ質問ニ對シテ、政府ハ、全クサウデアルト答ヘマシタ、デ本案ハ委員會ニ於テ討論ニ入りマシタ所、此改正法律案ハ全會一致ヲ以テ否決スルト云フコトニ決シマシタ、右御報告申上ゲマス、次ニ身元保證ニ關スル法律案デゴザイマス、此法律案モ衆議院提出ニ係ル法律案デアリマシテ、從來身元保證契約ニ關シテハ特別ノ成文法ガアリマセヌデシタノデ、身元保證人ガ過重ナ責任ヲ負擔セラレルコトガ多クアリマシタ、此弊ノ救濟スル目的ヲ以テ、身元保證契約ノ本質ヲ限定スルト云フ意味カラ、此法律案ガ提出セラレタ譯デゴザイマス、衆議院提出案ハ五條カラ成^フテ居リマシテ、第一條ニ於テハ期間ノ定メナキ身元保證契約ノ有效期間ヲ三年ト定メ、例外トシテ商工業見習者ノ身元保證契約ニ付テハ之ヲ五年トシ、第二條ニ於テハ契約ノ最長期間ヲ七年ト定メ、第三條ニ於テハ使用者ガ被用者ニ業務上不適任又ハ不誠實ナル事跡アリタルコトヲ知リタルトキ、又ハ被用者ノ任務又ハ任地ヲ變更シタル等ノ場合ニハ、使用者ガ身元保證人ニ對シ通知ノ義務ヲ負フコトヲ規定シ、若シ之ヲ怠リタル場合ハ身元保證人ニ對スル損害賠償ノ請求權ヲ失フコトヲ規定シテ居リマス、

第四條ニ於テハ身元保證人ガ第三條ノ通知ヲ受ケタルトキ又ハ被用者ニ付キ第三條ノ事實アリタルコトヲ知リタルトキハ契約ノ解除ヲ爲シ得ルコト、竝ニ右契約解除ハ遲滞ナク之ヲ爲サザル時ハ其權利ヲ失フ旨ヲ規定シテアリマス、五條ニ於テハ本法ノ規定ニ反スル特約デ身元保證人ニ不利益ナルモノハ總テ無効トスルコトヲ規定シテアリマス、本案ニ對スル政府當局ノ意見ハ、今日身元保證契約ニ關シ特別ノ規定ナキ爲メ、身元保證人ガ往々ニシテ過重ノ責任ヲ負擔セラレ、屢々裁判沙汰ニモナルコトが多クアリマスノデ、本法程度ノ成文法ガ出來ルコトハ、寧ロ望マンシイコトデアルト云フノデゴザイマス、本案ニ關シマシテハ幾多ノ質疑應答ガ委員會ニ於テ重ネラレマシテ、又幾度カ懇談會ヲ開キマシタ、其詳細ハ速記録ニ譲ルコトト致シマシテ、結局左ノ通り修正スルコトトナリマシタ第一ニ第二條中ノ「七年」ヲ「五年」ト改ム、二ニ第三條中「若シ此ノ通知ヲ怠リタルトキハ其ノ以後ニ於ケル被用者ノ行爲ニ付身元保證人ニ對スル損害賠償請求ノ権利ヲ失フ」ト云フ字句ヲ削リマシタ、三、第四條中ノ第二項ヲ削リマシタ、四、第四條ノ後ニ左ノ一條ヲ加ヘ、五條ヲ六條ト改メマシタ、五、新ニ加ヘマンシタ箇條ハ「裁判所ハ身元保證人ノ損害賠償ノ責任及其ノ金額ヲ定ムルニ付被用者ノ監督ニ關スル使用者ノ過失ノ有無、身元保證人ガ身元保證ヲ爲スニ至リタル事由及之ヲ爲スニ當リ用キタル注意ノ程度、被用者ノ任務又ハ身上ノ變化其ノ他一切ノ事情ヲ斟酌ス」ト云フ項デゴザイマス、六、保証契約ノ最長期間ヲ五年ニ短縮セムトスルモノデアリマシテ、使用者ト被用者トハ修正ノ理由ヲ簡單ニ申述ベマスレバ、第二條中ノ七年ヲ五年ト改メマシタノハ、身元保證契約ノ最長期間ヲ五年ニ短縮セムトスルモノデアリマシテ、使用者ト被用者トハ五年モ經ツ間ニハ相互ニ十分ノ相識ヲ……十分ニ變方ガ相分ニテ、最早身元保證契約

ルトノ意見ガアリマシタノデ、委員會ニ於キマンテハ之ニ付テ慎重ナル考慮ヲ拂ヒ、特ニ懇談會ヲ開キ、右ニ關シ熱心ナル主張ヲ有スル委員外ノ一同議員ノ意見モ十分ニ聽取イタシマシタガ、委員會ニ於キマンテ今回我國ノ身元保證契約ハ、金錢債務的要素ヨリモ、對人信用ト云フ精神的要素ガ多分ニ含ンデ居リ、現在身元保證契約ニ基テ損害賠償ヲ請求スルニ於テモ僅少ナルノミナラズ、我國ニ於テハ未ダ身元保證契約ヲ結ブニ當リ、損害賠償ノ金額ヲ定ムルメタル場合ハ使用者ト被用者トハ強者弱者ノ關係ニアルノデ、結局身元保證人ハ巨額ノ金額ヲ定メタル契約書ニ調印ヲセザルヲ得ザルノミナラズ、損害賠償ノ金額ヲ明記セル契約成立スルトキハ、前述ノ本邦身元契約ノ特質タル精神的要素ガ減耗セラレ、延イテハ健訟濫訴ノ弊ニ陷ル虞ガゴザルコトニ致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ討論ニ移リマシテ修正意見ハ全會ノ委員會ニ於キマシテハ身元保證契約中ニハ必ズ損害賠償ノ金額ヲ定ムベキ規定ヲ設ケザルコトニ致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ討論ニ移リマシテ修正意見ハ全會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此法律ニ古物商取締法中改正法律案ニ付テ委員會ノ衆議院提出ノ法律案デアリマシテ、同法第十七條中ノ「贓物」ノ二字ヲ「盜品」ニ改メヤウト云フノデゴザイマス、其要旨ハ廣ク贓物ト稱スルトキハ盜品ノ外ニ詐欺、横領又ハ脅迫ニ依テ占有ヲ離レタモノヲ含ムコトニナツテ居リ、之ヲ警察官ニ於テ徵收シ、被害者ニ還付シ得ルコトニナツテ居リマスガ、是等ノ詐欺、横領、脅迫ニ依ルモノハ不完全ナガラモ所有者ノ意思ニ基イテムコトニナツテ居リ、之ヲ警察官ニ於テ徵收シ、被害者ニ還付シ得ルコトニナツテ居リ

全然所有者ノ意思ニ基カズシテ所有ヲ離レタル盜品ト同様ノ保護ヲ與フルコトハ、其保護ノ程度厚キニ失スルト共ニ、一面ニ於テハ古物商ニ對シテ餘リ苛酷ノ嫌ヒガアルヲ以テ之ヲ改正シヤウストル次第デゴザイマス、尙ホ民法第百九十三條、第百九十四條ニ於テ盜品ニ付テ特別ノ規定ヲ設ケ、廣ク贓物ト規定セザリシ法意ヲ前述ト同一ノ趣旨ニ基イタモノト見ルコトガ出来マス、而シテ本法ノ姉妹法トモ言フベキ關係ニアル質屋取締法ノ第十六條ニ、以前ニハ贓物ト規定シテアリマシタガ、明治四十三年四月、是ヲ盜品ニ改メ、其改正ノ理由モ、前述ト同一デアルカラ、今日古物商取締法ニ付テモ同様ノ改正ヲ爲スノガ最モ必要デアルト云フノデゴザイマス、政府ハ提案ノ理由ト全然同一ノ理由ヲ以テ、此改正案ニ對シテ同意ノ意ヲ表シマシタノデ、委員會ニ於キマシテハ、明治四十三年ノ質屋取締法ガ、上述ノ理由ニ依テ改正ニナツタ場合ニ於テ、其姉妹法タル古物商取締法ニ同様ノ改正ヲ爲サレナカタノデアルカト云フ間ヒガ出マシタ場合ニ、政府ハ之ニ答ヘマシテ當時質屋取締法改正ハ、議院提出ノ改正案デアッテ、政府ノ提出シタモノデナイ、古物商取締法ニ付ハ別ニ提案ガナカタカラ、改正ヲ見ナカタダケデ、別ニ特別ナ理由ガアッテ古物商ノ取締法ノ方ヲ改正シナカタノデハナイト云フ答ヘデゴザイマシタ、デ委員會ニ於キマシテハ、討議ニ入り、本案ハ全會一致ヲ以テ、可決スルコトニ決定イタシマシタ、右三案ニ付テノ委員長ノ御報告ヲ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七ヲ問題ニ供シマス、本案ヲ第二讀會ニ移シテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナント呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ日程第八、
本案ヲ第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイ
マセヌカ

○「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 「異議ナシ」ト呼
フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異存ゴ
ザイマセヌカ

○「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議
通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス、次ノ議事日程ハ只今決定イタシ兼ネ
マス、本院報紙ヲ以テ御通知ニ及ビマス、
左様御承知ヲ請ヒマス、本日ハ是ニテ散會
イタシマス

午前十一時一分散會

